

「武蔵野市立学校に係る部活動の方針」の策定について

1 目的

部活動は、子どもたちが豊かな学校生活を送る上で大変教育的意義のある活動である。一方で、練習時間や拘束時間が長時間に及ぶことによりバランスのとれた生活や成長への懸念、教職員の多忙化への対応、教員の異動等に係る部活動の持続可能性の確保などの課題も指摘されている。

市立学校における部活動が、より効果的・効率的に行われ、子どもたちの健全な成長を支え、持続可能な取組となることを目指し、スポーツ庁及び文化庁が示す総合的なガイドラインに則り、「武蔵野市立学校に係る部活動の方針」を策定した。

2 経緯

- 平成 30 年 3 月 スポーツ庁 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定
4 月 東京都教育委員会 「東京都教育委員会 運動部活動の在り方に関する方針」を策定
5 月 武蔵野市立中学校部活動在り方検討委員会（以下検討委員会）を設置
※ 設置目的は、効率的及び効果的な部活動の推進、教員の多忙化の解消、部活動の継続性等を図ること
6 月 校長会で、武蔵野市部活動基本方針の内容の方向性について情報共有
7 月 第 2～4 回検討委員会で部活動の休養日や活動時間、部活動指導員の導入について
く 意見交換
12 月 文化庁 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定
平成 31 年 1 月 第 5 回 検討委員会で文化部活動の活動方針について意見交換
校長会で文化部活動の休養日や活動時間について情報共有・意見交換
2 月 校長会で「武蔵野市立学校に係る部活動の方針（案）」について情報共有・意見交換
3 月 「武蔵野市立学校に係る部活動の方針」策定
定例教育委員会で「武蔵野市立学校に係る部活動の方針の策定について」報告

3 本方針の主な内容

- ・学校の活動方針の公開 ・休養日、活動時間の明確化 ・中学校部活動指導員の導入

- スポーツ庁及び文化庁のガイドラインでは、学校設置者による部活動における基本方針の策定が求められており、本方針は、本市の実情を踏まえつつ、各ガイドラインに則って作成した。
□ 文化庁「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」では、小学校における文化部活動も対象としており、小学校の活動も本方針に準じた活動となる。

4 今後の予定

- 3 月下旬発行「きょういく武蔵野」に本方針の休養日や活動時間の設定等、概要を掲載し、保護者・地域へ周知を図る。
○ 学校の部活動保護者会等を通じて、周知し、本方針に沿った活動となるよう理解を得る。
○ 来年度も検討委員会を設置し、持続可能な部活動の在り方等について引き続き検討する。